

平成27年9月10日

平成27年度 第1回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校
校長 森田 亨

〔会議日時〕 平成27年9月3日（木）午後7時00分～午後8時30分

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員5名

望月 保さん（若草地区自治会連合会長 下村区自治会長）

村松 秀樹さん（社会教育委員 学校評議員）塚原 久美子さん（主任児童委員、学校評議員）

長嶺 裕二さん（PTA会長、学校評議員） 西尾 美佳さん（PTA副会長、学校評議員）

・学校側3名

森田 亨（校長）

横小路 豊（教頭）

時田 直人（主幹教諭）

1 学校からの説明事項

第1回学校評価、各アンケートの集計結果について

- ①児童アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ②保護者アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ③教職員アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

2 意見交換

（1）学校評価の方法について

学校関係者評価委員より、学校関係者評価委員の仕事内容、学校評価の方法について質問や意見をいただいた。

主な意見は、次のようなものである。

○いじめとけんかとの違いをどのようにとらえるかは難しい。何でもいじめととらえてしまうことはどうかと思う。いじめは絶対にいけないことであるが、友だちとけんかして成長する面もある。精神的にも強い子どもに育ててほしい。先生たちもいじめかどうか見極めるのは難しいが、指導をお願いしたい。

○数値の中で気になる学年もある。ある学年では、学校が楽しくないという児童の数値が他学年より高い結果であった。また保護者も同様に高い数値である。数字だけでは計れないこともあるが、何か信号があるのではないかと感じる。

○保護者の意見はお父さんとお母さんの考えが一致の上なのかどうでしょう。学校生活をよく見ているのはお母さんかと思う。授業参観でもお父さんは少なく、お母さんがほとんどであり、お母さんの意見が反映されているように思う。

○休み時間の子どもたちの様子はどのように過ごしているのか。子どもたちは、休み時間には外で元気に遊び学力も体力もしっかりと身につけてほしい。

(2) 教育活動について

教育活動については、学校関係者評価委員より、次のような質問をいただき、学校側から回答をした。

①いじめや悪いことをしたら、先生や友だちに言えないという児童は、実際にそういう場面で言えなかったことがあったから答えていると思う。これまで特に大きないじめとか問題になりそうになったことはあったのか。

回答：この学校評価アンケート以外に、いじめについて児童に記名でアンケートを行っている。その中で「ある」と答えた児童については、担任が聞き取り調査を行い、事実関係を調べている。1学期の調査においては、悪口やたたかれたなどのトラブルが数件ありすぐに指導した。すべての事実において確認を行った結果、いじめと認定できるものはなかった。

○子どもたちの心の傷になる子がいたら困る。先生たちが指導して解決してくれているのなら安心である。

②2学期に入り、登校しぶりなどみられるでしょうか。

回答：体調を崩して早退などは数名みられるが、登校しぶりなどは見られない。子どもの自殺が9月1日に多いなどの報道があったが、若草小学校ではそのような様子はない。夏休み中の生活から学校生活に戻り、適応できない児童も数名いるが、ほとんどの児童は元気に登校している。

③家庭学習とは予習や復習のことでしょうか。

回答：本校では宿題と合わせて、「自主学習」を取り入れて家庭学習の充実を進めている。4年生では40分・6年生では60分というように、学年×10分を目安に家庭にも呼び掛けて取り組んでいる。学期に1度、家庭学習強化週間を設けて家庭学習の定着に取り組んでいる。

④遅刻してくる児童はいるのですか。学校の決まりなどはどのようになっていますか。

回答：本校では集団登校で児童が登校してきており、通院等で遅れること以外は特に目立つような遅刻は見られない。特別支援に在籍する児童の中には、保護者の送り迎えで遅刻しての登校は見られる。学校内のルールについては、児童の学校生活の過ごし方という形で登校時間やボール遊びなどきまりを作っている。

⑤保護者からの相談はあるのですか。

回答：電話や連絡帳での相談や、放課後に来校しての相談はある。担任からも、学校での気になった様子を伝えるなど、保護者との連絡を取り合っている。また、専門的な相談については、週に一度来るスクールカウンセラーとの面談も行っている。

⑥高学年の授業での発言や質問をするという項目で、否定的な回答が高いことが気になる。数字だけで判断できないが、学年の様子はどうか。また、アンケートを6月末に行っているが、今の状態や雰囲気はどうか。

回答：否定的な回答の高い学年やクラスでは、1 学期落ち着かない児童も存在していた。クラス替えなどいくつかの要素も加わっている。授業中に学習意欲が乏しい児童もおり、その影響を受けていることもある。2 学期に入ってから授業の様子であるが、1 学期より改善され良い雰囲気での学習に取り組んでいる。2 学期は運動会の取り組みもあり、運動会練習などを通し良い方向に向けていければと考えている。

⑦TT 授業の活用はどのように進められているのか。

回答：本校では、2 名の市単教員と 1 名の非常勤講師の 3 名を中心に TT 授業を行っている。可能な限り、算数を中心に全クラスで複数教員による授業を行っている。

平成 27 年度第 1 回学校関係者評価委員会では、以上のような意見・質問をいただいた。貴重な意見をもとに、本校の課題改善に向けて、職員一同力を合わせて頑張っていきたい。